

例会山行のレベル定義

レベル	概要	内容、要素	山行例
A1	ハイキング的な 軽い山歩き	<ul style="list-style-type: none"> 歩行時間が3～4時間以内の山行 日帰り山行 	低山のハイキング
A2	ハイキングから 一歩踏み出した 内容の山行	<ul style="list-style-type: none"> 歩行時間が5～6時間以内の日帰り、又は前夜泊の山行 無雪期で標高差600～700m以下 積雪のある低山（標高500～600m以下）の雪山ハイク 2日程度の連泊を伴う低山コース 獣道や藪コギは無いルート 危険な岩場の通過は無いルート 	北山・比良山周辺の低山
B1	ある程度の体力 や技術を必要とする山行	<ul style="list-style-type: none"> 1日の歩行時間6～7時間以上の山行 無雪期で標高差700～800m以上 積雪のある標高600～700m以上の山 2日以上山小屋利用(テント泊含む) 藪コギがある（予想される） 	<ul style="list-style-type: none"> 登山道でないルートを経ての奥美濃・京都北山等 夏山のテント泊縦走
B2		<ul style="list-style-type: none"> 標高が2,000m程度を越える山 10kg程度を超える装備を担いでの山行 沢登り 	<ul style="list-style-type: none"> 金毘羅等での岩登り ボッカ訓練
B3		<ul style="list-style-type: none"> 岩登り山行（人工壁も含む）※ 日帰りの山スキー※ 	<ul style="list-style-type: none"> 溪流タビ、ワラジを使用する山行
C	体力と技術がかなり必要で、危険要素が含まれる内容の山行	<ul style="list-style-type: none"> テント泊装備を担いでの積雪のある山 岩と雪の登攀ルートがある山行 山スキーでの縦走 泳ぐ又は岩登り道具を駆使するような沢登り 	<ul style="list-style-type: none"> 穂高、剣岳等での岩登り 11月～5月の雪山テント泊 その他、体力技術と危険要素の大きい山行

- B1=Bレベルの「内容、要素」が1～2項目ある
- B2=Bレベルの「内容、要素」が2～3項目ある
- B3=Bレベルの「内容、要素」が3項目以上ある
- ※ 岩登り、山スキーは「内容、要素」が2項目あるものとする
- ランク付けは柔軟な判断による区分とする。
(内容・要素が1項目の場合でも、度を越えると考えられるなら2項目あると考える)
- B2レベル以上の場合には、そのレベルの理由やコメントを簡単に書く。
【例】B2：歩行時間が6時間、積雪のある登山
B3：歩行時間が6時間、標高差1,000m、2日間の山小屋利用、標高2000m以上の山